

城といえば上野城のように、石垣やその上に建つ天守閣のイメージがあると思いますが、これらの城のほとんどが安土桃山時代から江戸時代に築かれたものです。この時代より前の中世（鎌倉時代から戦国時代）につくられた城や館を「中世城館」といいます。

伊賀市にはこの中世城館が600力所以上あり、その分布密度は日本一と言われています。また、中世城館の多くは「単郭方形」といわれ、館の周囲に堀を巡らせ、堀を掘った際の土を堀の内側に積み上げて土塁を築き、敵の攻撃を防ぐ構造をもっています。なかには丘陵や山上など自然の地形を整形して利用した城館も発見されています。伊賀の中世城館の多くは戦国時代に土豪（地元の有力者層）が自らの村や館を守るために自衛の手段として築いたものと考えられています。



菊永氏城跡縄張り図

発掘調査後全景写真（北から）
手前が主郭にあたる

1986（昭和61）年、韮田地区で農免道路整備のため菊永氏城跡が発掘調査されました。調査は道路の整備の範囲である丘陵頂部に土塁で囲まれた主郭と、その南側斜面に階段状にある削平地8区画のうち3区画で行われました。

主郭は空堀、土塁で囲まれた一辺が約30mのほぼ方形の平坦地で3棟の建物跡と井戸跡、柵跡などが見つかりました。また、出土遺物は、土師器の皿・鍋や陶器の茶碗、播鉢などの生活雑器などが出土し、なかには当時貴重であった中国から輸入された磁器も出土しました。菊永氏城は郭を複数有し、伊賀地域では大型の城に分類される城館跡でしたが、道路の整備によって当時の面影を見ることは難しくなっています。

文化財課

☎ 22・9678 FAX 22・9667

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

人権について考えるコラムです。

災害時こそ思いやりを忘れずに ー総合危機管理課ー

日本は、世界的に見ても地震の多い国です。

直近の10年間だけでも、東日本大震災や熊本地震などの大きな地震がいくつも起こりました。また、今後30年以内にマグニチュード8.0以上の南海トラフ地震が起こる確率は70～80%と非常に高く、いつ大きな地震が発生してもおかしくない状況です。だからこそ、地震に備えて避難経路や避難先を知っておくことはとても重要です。

しかし、地震が起きたときにすべての人が素早く避難し、避難生活を送ることができるのでしょうか。

私たちの身の回りには、高齢者や障がいのある人、要介護者、乳幼児、妊娠婦、日本語を勉強中の外国人の人など、避難するときや避難生活において支援を必要とする人たちがいます。

例えば、市内にはいくつもの介護保険施設などがあり、何らかの支援を必要とする人が多く生活されています。そのため、大きな災害が起こった時に施

設の職員だけでは対処できません。

また、避難後の生活に不安を抱く人もいます。過去には、周囲に迷惑をかけるのではないかと避難所へ行くことをためらい、車中泊を続けたために体調を崩した人のニュースがありました。また、東京では野宿生活者が避難所に入るのを拒否されたというケースもあります。ですが、安全な場所への避難は、すべての人に保障されるべきことです。

そうしたことから、日頃から地域の中で、災害が起きたときに支援を必要とする人の存在を知り、災害に備えて役割分担をしておくことが大切です。

災害時はみんな自分のことで精いっぱいになりがちですが、そういう時だからこそ、全員で災害を乗り越えるために「思いやりの心」を忘れないでほしいと思います。



芭蕉翁記念館だより

俳句では草木や鳥など、さまざまな言葉が季語となります。なかには、芭蕉さんによって、初めて季語として用いられたものがあるそうで、その一つが「椎の花」です。

椎はドンブリをつける木で、夏に細かい黄色の花が咲き、独特な匂いがします。芭蕉さんはこの花を季語として、弟子の許六が彦根へ帰るとき、次のような句を贈りました。

旅人のこころにも似よ椎の花

「旅人の風雅な心にふさわしく、椎の花がこの者を出迎えてくれ」という意味です。

◆企画展「芭蕉～生き物たちとの語らい～」

6月28日(日)まで

ギャラリートーク

6月6日(土) 午後1時30分～

【問い合わせ】

○文化交流課 ☎ 22-9621 FAX 22-9619

✉ bunka@city.iga.lg.jp

○芭蕉翁記念館 ☎ 21-2219

公共交通を利用しましょう

コミュニティバス「にんまる」運行開始！

昨年4月に運行を開始した忍者ラッピングバスは、新たなデザインのバスも加わり、4月から2台揃って運行しています。

また、これまでの愛称「しらさぎ」を一新して、伊賀流忍術発祥の地にふさわしく、親しみやすい愛称「にんまる」となりました。

4月1日には、多くの人にバスを利用してほしいという期待を込めて、忍者市（上野市）駅前で行われました。

2台揃った「まるごと忍者のラッピングバス」に乗って出かけましょう。



【問い合わせ】

交通政策課 ☎ 22-9663 FAX 22-9694

情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・かめやま

甲賀市

亀山市

～新茶の季節 近江の茶～ 極煎茶 比叡と琵琶湖かぶせ

甲賀市産の朝宮茶と土山茶が生産量の96%を占める近江の茶。(-社)滋賀県茶業会議所では近江の茶の統一銘柄として「極煎茶 比叡」と「琵琶湖かぶせ」を販売しています。



▲近江茶の統一銘柄 極煎茶 比叡と琵琶湖かぶせ

の味をぜひご賞味ください。

※下記ホームページに販売先を掲載しているほか、インターネットでの注文もできます。

【問い合わせ】 (-社) 滋賀県茶業会議所

☎ 0748-63-6960 FAX 0748-63-5204



【問い合わせ】 甲賀市秘書広報課 ☎ 0748-69-2101

やまとたけるのみこと おとたちばなひめ ～日本武尊・弟橘媛ゆかりの地～ 日本書紀編さん1300年

令和2年、「日本書紀」が完成してから、1300年の節目を迎えました。亀山市は、その中に登場する『日本武尊』とその妃『弟橘媛』ゆかりの地です。



このたび、『日本武尊』が眠るとされる能褒野御墓や能褒野神社、『弟橘媛』の生誕の地とされる忍山神社など市内の伝承地を紹介するとともに、2人の深い愛の物語に着目した特集動画を制作しました。

亀山市シティプロモーション専用ホームページ「住めば、ゆうゆう。」で、まちの魅力として情報発信していますので、ぜひご覧ください。



【問い合わせ】 亀山市政策課広報秘書グループ

☎ 0595-84-5021

【問い合わせ】 亀山市広報秘書G ☎ 0595-84-5021